

カウンセラー室だより



枕草子《随筆》とSNS

2024年1月から放送されたNHK大河ドラマ「光る君へ」は、世界最古の女性文学と言われる「源氏物語」を執筆した紫式部の生涯が描かれました。

主人公のまひろ（紫式部）の他にききょう（清少納言）が登場しました。ききょうが「枕草子」《随筆》を書いたのは、お仕えしていた中宮定子（皇后）を慰めるためでした。以下は、ききょうがまひろに後に「枕草子」となる書き物を見せる場面です。まひろは、ききょうが書くものはきれい事なのだ、と苦言を呈します。ききょうの反論にしぶれました。

まひろ：「人には光もあれば影もあります。人とはそういう生き物なのです。そして複雑であればあるほど魅力があるのです。」

ききょう：「皇后様に影などはございません。あつたとしても書く気はございません。」

（NHK大河ドラマ「光る君へ」）

SNSでのつぶやきや投稿は、《随筆》とよく似ています。《随筆》は、基本的にはあつたことを書くので何を書いてもいいわけです。

書きたいことと同時に、何を書かないか。

これを極めてはじめてから最後まで一つの軸として守り通しているのがききょう（清少納言）なのです。

これに関して、あの俵万智さんも「その美意識に貫かれたのが《枕草子》の世界なのだ。（生きる言葉）」と論じています。

私たちは自分のSNS投稿にも、この美意識を持ちたいものです。

あなたの素顔がわかる！おもしろ心理テスト

あなたが秘めている隠れた才能は？

Q.海賊が無人島でホコリをかぶった箱を見つけました。入っていたのは？



- A. たくさんの金貨
- B. 宝のありかを示す地図
- C. ミイラ
- D. リングやネックレスなどの宝石

深層心理では、「箱」はさまざまな可能性が詰まっていると考えられています。その中に入っているものが何か？によって、あなたの秘めた才能も明らかになるのです。

A. たくさんの金貨を選んだ人は

「金貨」は、生きるために欠かせない食べ物を買うときに必要なもの。これを選んだ人は、リアリスト。未来や夢のためしっかり働きお金を貯める生活力をもっていそう。ひたむきに努力できる才能が。

B. 宝のありかを示す地図を選んだ人は

いろいろな情報が隠されている「地図」。これを選んだ人は、頭の切れるタイプ。少し先の未来や流行をキャッチする、先見の明を備えていそう。

C. ミイラを選んだ人は

「ミイラ」と言えば、古代エジプトの王さまが有名。そんな高貴さや歴史が投影されるこの答えを選んだ人には、不思議と人を惹きつけるカリスマ性やリーダーシップが。

D. リングやネックレスなどの宝石を選んだ人は

「宝石」は、きらめきのシンボル。これを選んだ人には、自然と周囲を惹きつけるオーラと魅力があるみたい。相手を思うままに操る人たらしの才能あり。